

---

# 第18回 山口県介護保険研究大会

## 開催要項

### どうつくる？ 地域包括ケアシステム

～住み慣れた地域で看取りに取り組む～

---

#### 1 趣 旨

今年5月に介護保険法が改正され、地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしを継続できるよう、関係機関・サービス提供事業者による在宅医療・介護連携、多様な生活支援・介護予防サービスの包括的な提供体制の基盤整備が求められている。

高齢者が尊厳を保持し、自分らしい生活を人生の最期まで続けることができる地域を作るためには、医療、保健、福祉の関係機関をはじめ、行政機関や地域住民が連携・協働し、地域の実情に応じたサービス提供体制を構築し、重層的に支援を行っていくことが必要となっている。

そこで、医療、保健、福祉のサービス事業者等が一堂に会し、18年目を迎える制度がよりよいものとなるために、さらにはサービスの質の向上と職員のスキルアップに向けて論議、研究するため「第18回介護保険研究大会」を開催する。

#### 2 主 催

山口県介護保険関係団体連絡協議会

山口県医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会、山口県看護協会、山口県栄養士会、山口県医療ソーシャルワーカー協会、山口県理学療法士会、山口県作業療法士会、山口県老人保健施設協議会、山口県老人デイ・ケア協議会、山口県訪問看護ステーション協議会、山口県国民健康保険団体連合会、山口県老人福祉施設協議会、山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会、山口県訪問介護事業所連絡協議会、山口県デイサービスセンター協議会、山口県介護福祉士会、山口県介護支援専門員協会、山口県社会福祉士会、山口県福祉用具協会、山口県在宅老所・グループホーム協会、山口県社会福祉協議会

【22団体で構成】

#### 3 後 援

山口県、山口県市長会、山口県町村会

#### 4 日 時

平成29年11月26日（日）午前9時50分から午後3時30分まで

## 5 会 場

山口県総合保健会館

〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1-1

TEL:083-934-2200 FAX:083-934-2209

【午前】<第1会場> 多目的ホール

<第2会場> 第1研修室

※研究発表と実践報告併せて2会場

【午後】<全体会> 多目的ホール

## 6 定 員

500人

## 7 内 容・日 程

時 間	内 容
9 : 0 0	受 付
9 : 5 0	開 会
1 0 : 0 5	研究発表・実践報告 1つあたりの発表、報告を12分、質疑、助言を5分とします。 1会場あたり最大6題の発表、報告を予定。 時間内に休憩10分、まとめ15分とします。
1 2 : 3 0	昼食・休憩
1 3 : 3 0	基調講演（一般開放） 「なじみの地域で最期まで過ごすためのサポートをするために」 ～ホスピスは人づくりから～（仮題） 〈講師〉 認定NPO法人 ホームホスピス宮崎 理事長 市原美穂 氏
1 5 : 3 0	閉 会

## 講師紹介 市原美穂（いちほらみほ）



認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎 理事長  
1947年宮崎県生まれ。1969年熊本県立熊本女子大学卒業。  
1987年宮崎市に夫が「いちほら医院」を開業し医療現場裏方とし携わる。1998年「ホームホスピス宮崎」設立に参画し、2002年「特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎」理事長に就任。2004年「ホームホスピスカあさんの家」開設、現在宮崎市内に4軒を運営する。著書は「ホームホスピスカあさんの家のつくり方」（図書出版木星舎）、「暮らしの中で逝く」その理念について（図書出版木星舎）、共著「病院から家に帰るとき読む本」（図書出版木星舎・編著）

## 8 研究発表・実践報告内容 【第1会場】

【助言者】山口大学大学院 医学系研究科 講師 矢田 浩紀 氏

【司 会】一般社団法人 山口県作業療法士会 理事 木原 涼子 氏

### 【研究発表】

#### 「介護サービスの質の向上に関すること」

一般社団法人 山口県介護福祉士会 萩市特別養護老人ホーム かがやき

発表者：角屋春美（介護職）

##### 「座薬に頼らない排便コントロールを目指して」

当施設は、平成28年4月に県内で最大の特別養護老人ホーム（150床）となり、医療職や看護職が減り、介護職の不安が増した。しかし、利用者に元気に過ごしていただくために「介護職としてできることは何か」を考え、排便コントロールに取り組んだことで、やりがいの気持ちとともに他職種と協力することの大切さを学んだ。

#### 「介護予防・生活支援に関すること」

山口県立大学大学院 健康福祉学研究科 発表者：林 瑞恵

##### 「過疎地域で暮らす在宅高齢者に対する地域リハビリテーションモデルの検討」

過疎地域における生活環境を活かし、地域住民のつながりを大切にした過疎地域の地域住民の生活のあり方は、これからの地域リハビリテーションを考える上で、一つのモデルケースになると思われる。今回の研究は、過疎地域において高齢者が在宅生活を長く続けることができる要因を明らかにし、これから過疎化がより進展していく地域のリハビリテーションモデルを検討することを目的とした。

#### 「働き続けられる職場づくりに関すること」

特別養護老人ホーム 福寿荘 発表者：原田 真吾（介護リーダー）

##### 「ストレス軽減のために、あなたはどう取り組みますか？」

介護する職員が、日々の介護業務の中で、どんな事にストレスを感じ、それに対してどう対応しているのか。アンケートを通して意見集約しストレスの少ない仕事を目指す方法を探り今後に活かしていきたいと考えました。

## 【実践報告】

### 「連携・協働に関すること」

社会福祉法人 青藍会 ハートクリニック南山口 報告者:柳井 勇樹(作業療法士)

#### 「当院における多職種連携での退院支援の取り組み」

当院では、在宅復帰機能強化加算と算定している。療法士が中心となり、多職種と連携をはかりながら、退院支援を行っている。取り組みと今後の課題について発表する。

公益社団法人 山口県栄養士会 障害者支援施設 高嶺園

報告者:藤井 美由紀(主任栄養士)

#### 「防災食への取り組み～福祉避難所・薪や木炭を使った炊き出し・食の楽しみ～」

いつ起こるかわからない災害時において、利用者様の命を守ること、できるだけ食の満足度を高めることを目的に、地域の方の協力も得た、「薪や木炭を使った炊き出し」による食事提供訓練の実施を報告する。

### 「介護サービスの質の向上に関すること」

周南リハビリテーション病院 報告者:河原 正明

#### 「パーキンソン病を有するA氏の趣味活動に対する介入と連携」

パーキンソン病を有するA氏のQOLを高めるため、A氏の趣味であった、球場での野球観戦を計画・実践した。その際の介入方法について報告する。

※QOL (Quality of life)

※ 大会当日の発表の順番は改めて決定します。

## 9 研究発表・実践報告内容 【第2会場】

【助言者】 広島国際大学 副学長 久保田 トミ子 氏

【司 会】 山口県老人福祉施設協議会 理事 辻中 浩司 氏

### 【研究発表】

#### 「連携・協働に関すること」

宇部リハビリテーション病院 通所リハビリテーション

発表者：森重 尚子（理学療法士）

#### 「リハビリテーション会議の効果と課題」

平成27年4月から平成29年3月までの2年間で、当院の通所リハビリテーションで行われたリハビリテーション会議を振り返り、効果と課題について考察した。

#### 「介護サービスの質の向上に関すること」

山口県老人保健施設協議会 介護老人保健施設 徳寿園 発表者：伊藤 利恵

#### 「KYT継続による意識の変化と事故報告書の要因分析について」

A施設で2015年にKYTを行い、職員意識の変化が見られたが、終了後のアンケートで「リスクに対する意識は時間がたつと薄れる」と意見があった。2016年にKYTを継続し、意識の変化と事故の要因分析を行い、事故の傾向をさぐった。

※KYT（危険予知訓練）

#### 「介護予防・生活支援に関すること」

山口県老人福祉施設協議会 特別養護老人ホーム 四季の里

発表者：山根 和信（ユニットリーダー）

#### 「園芸活動で生まれる笑顔生活」

2013年度より目標を立て、花壇作りを主とした園芸活動を行ってきた。園芸活動の実施状況と活動でえられた課題について報告する。

## 【実践報告】

### 「地域包括ケアに関すること」

山口県訪問看護ステーション協議会 報告者：新田 聡子

#### 「訪問リハビリにて言語聴覚士が関わった一症例」

失語症者は重症度に関わらず、コミュニケーション環境の変化から生じたストレスなどにより、抑うつ傾向に陥りやすい。言語聴覚士が訪問したことで、言語機能面と心理的側面に介入する機会を得たのでここに報告する。

### 「連携・協働に関すること」

公益社団法人 山口県歯科医師会 地域保健委員会 報告者：村田 道明（委員）

#### 「山口県歯科医師会における昨年度の他職種連携活動について」

山口県歯科医師会では、在宅医療の一層の推進に向け、他職種との研修会や協議をおこなった。今回は、平成28年度におこなった他職種連携活動の経過と結果について報告する。

### 「介護サービスの質の向上に関すること」

介護老人保健施設 しまた川苑 報告者：平塚 丈洋

#### 「人材確保と育成、介護サービスの質の向上への取組」

介護施設における離職者の増加に伴う職員不足、新人職員の教育、また、現職員との能力差をいかに補い、サービスの質の向上を図るにはどのような職員教育が求められるのかということを考え実践した結果を報告する。

### 「介護予防・生活支援に関すること」

一般社団法人 山口県作業療法士会 報告者：村谷 翔一

#### 「回復期リハビリテーション病棟における生活行為向上マネジメントの実践報告～大切にしていた夫と旅行を再開するまで～」

生活行為向上マネジメントツールを活用し、大切にしていた夫との旅行を再開するまでの取り組みについて報告します。

※ 大会当日の発表の順番は改めて決定します。

## 10 参加費

2,000円〈資料代〉【大会当日、受付でお支払ください。】

## 11 参加申込方法

「第18回 山口県介護保険研究大会参加申込書」に必要事項を記入し、下記へFAX又は郵送でお申込みください。

## 12 申込締切日

平成29年11月7日（火）必着

## 13 留意事項

- (1) 昼食については、会場で「赤い羽根弁当（お茶付・税込み600円）」を斡旋いたします。  
必要な方は、大会当日の受付時間内（午前9時から午前9時50分まで）に食券を購入してください。【参加費に昼食代は含まれていません。】
- (2) 発表会場の座席数には限りがありますので、発表時間により立見となることもあります。
- (3) 会館敷地内の駐車場につきましては、関係者専用となっています。来場者の方は下記「会場周辺地図」の専用駐車場及び臨時駐車場等を利用してください。
- (4) 駐車場のスペースに限りがありますので、参加にあたっては、公共交通機関の御利用や自動車の相乗りの御協力をお願いします。

## 14 申込み・問合せ先

山口県介護保険関係団体連絡協議会

〒753-0072 山口市大手町9-6（山口県社会福祉協議会 地域福祉部 内）

TEL(083)924-2828 FAX(083)924-2847

E-mail [kaidankyo@yg-you-i-net.or.jp](mailto:kaidankyo@yg-you-i-net.or.jp)

【会場周辺地図】

